

平成28年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「エプワース公立小学校校舎建設計画」贈与契約署名式

2017年3月30日、中野大使は、大使公邸にて行われた、平成28年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「エプワース公立小学校校舎建設計画」の贈与契約署名式に出席しました。

1879年に設立された本校は1999年より学習遅進児の支援を開始し、卒業時には平均的な学力にまで向上させていることから評判が高く、また、スクールバスの運行で遠方からの通学が便利になったこともあり、年々入学希望者が増加しています。その結果教室数不足が顕著となり、1972年に建てられた本校舎を黒板で区切って1年生から5年生が使用しています。このプロジェクトでは82,715米ドルの供与により2教室を有する建物を建築することで、生徒数過密問題を解消し、生徒が良質な教育を受けられるようになることが期待されています。

当日の署名式へは、リード教育・青年・情報大臣、ベル・セントアン県議会議員（地元選出のハナ下院議員代理）、同校関係者など約50名が出席しました。リード教育・青年・情報大臣をはじめとする来賓、学校関係者たちは、新校舎建設によってより良い教育環境が整うことの喜びと日本の援助への感謝を述べました。中野大使は、ジャマイカの発展のために、ジャマイカ政府及び人々と協力を続けていきたいと述べました。



（写真左）国家教育基金ハリス資金調達マネージャーから開式の挨拶

（写真右）感謝を述べるスポンサー校長



リード教育・青年・情報大臣挨拶



署名する本使、スポンサー校長



(写真左) 小切手の引渡し



(写真右) 歌を披露するエプワース公立小学校の生徒たち



記念撮影をする本使、リード大臣、ハリスマネージャー、
エプワース公立小学校校長、生徒と学校関係者